

しりべし経済レポート



Vol.117
(令和7年12月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所



<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

目 次

総括判断	1
個人消費	2
観光	4
住宅建設	5
公共工事	6
生産	6
雇用	7

【参考】

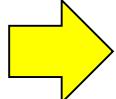
金融	8
企業倒産	9

=利用に当たっての注意=

- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

1. 【令和7年7月～9月期 総括判断】

管内経済は、持ち直している

	前回（7.4～6期）	今回（7.7～9期）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

2. 【各項目の判断】

	前回（7.4～6期）	今回（7.7～9期）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	回復しつつある	回復しつつある	
住宅建設	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
公共工事	年度累計では前年を上回る	年度累計では前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

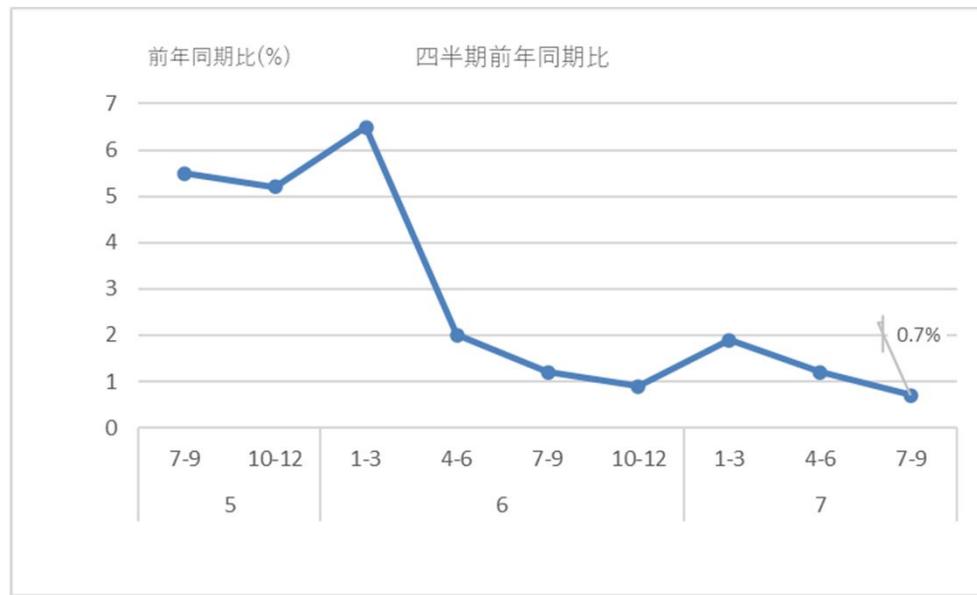
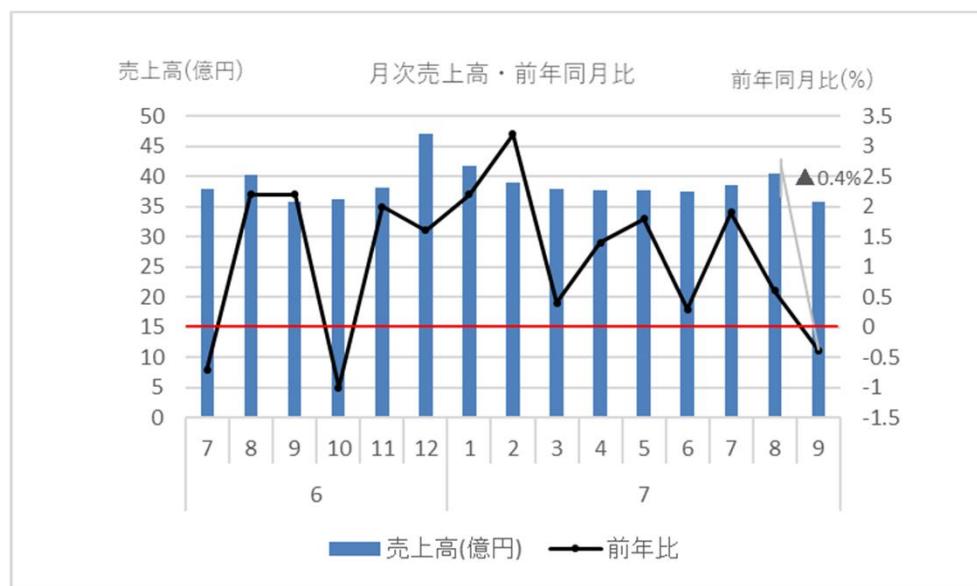
【個人消費】

持ち直しつつある

主要小売店売上高は、物価高による節約志向が継続するものの、猛暑に伴う需要が後押ししたことで前年を上回っている。

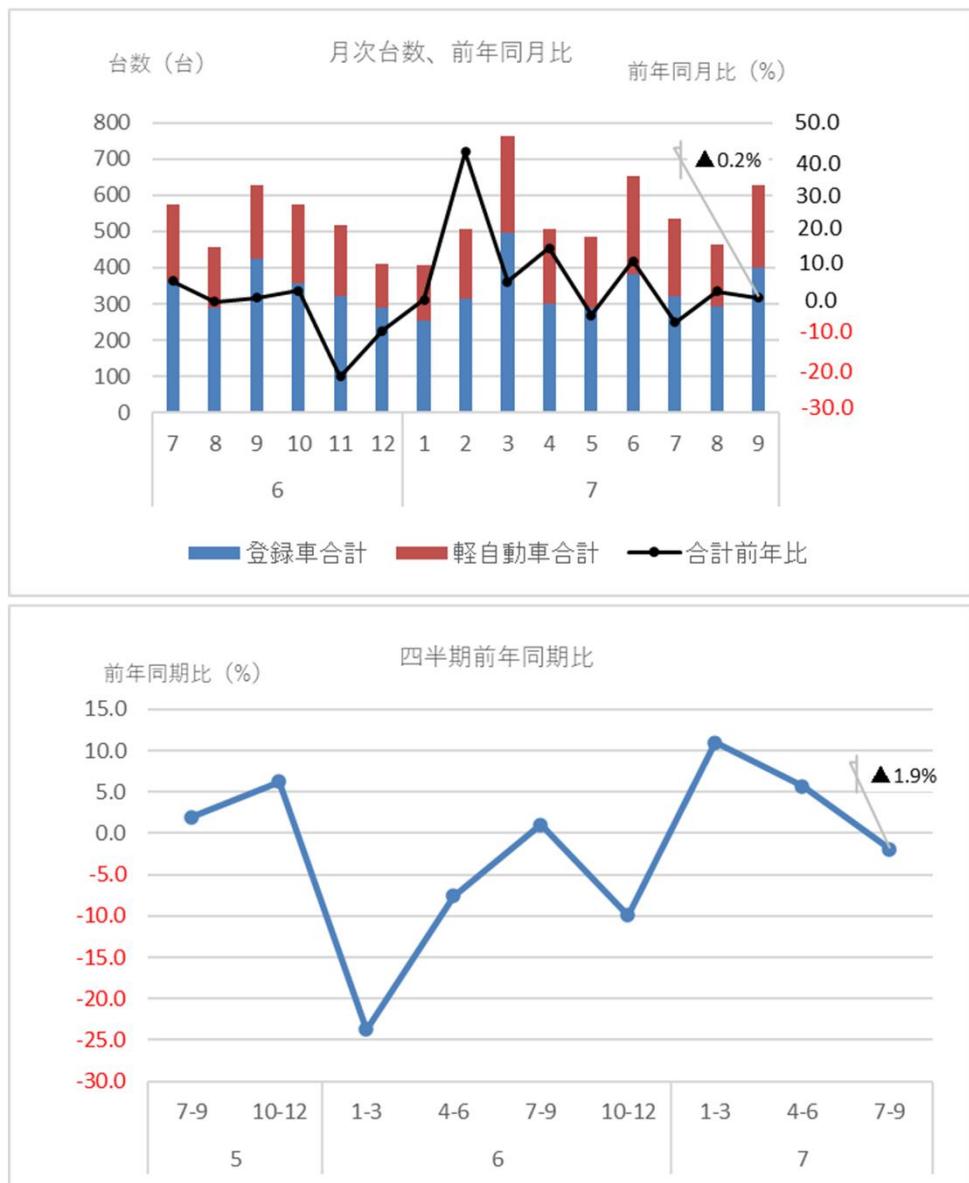
新車登録・届出台数は、車両価格の上昇から前年を下回っている。

主要小売店売上高の推移



(資料) 北海道財務局小樽出張所

新車登録・届出台数の推移



(資料) 北海道財務局小樽出張所

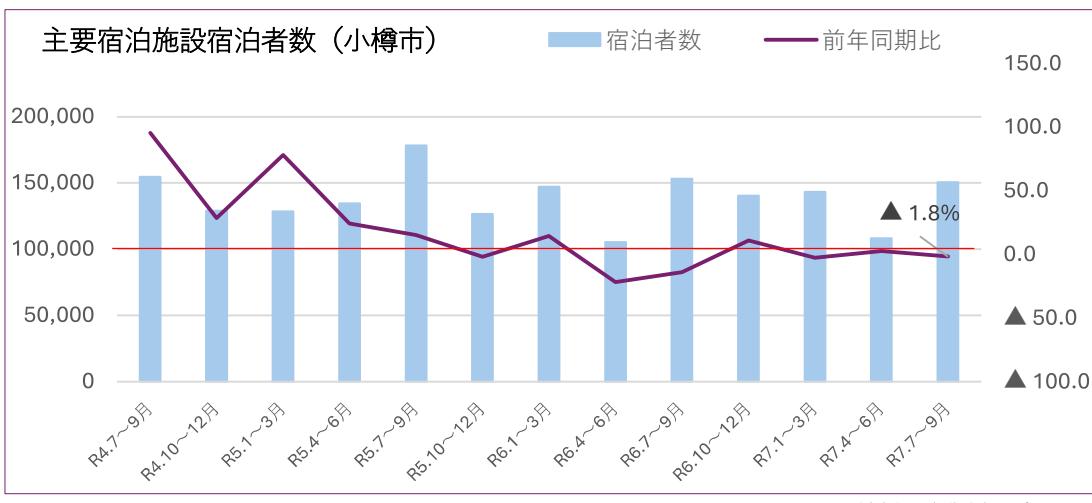
個人消費に関する生の声

- 価格が高くても食材を買わざるを得ない状況のため、割引デーなどで安く購入できるときに顧客が来店しやすい。(小売店)
- 食品の購入は必要最低限のものであり、嗜好品関連の商品の消費が落ちてきているが、物価高により客単価は若干上昇した。(小売店)
- 猛暑により季節品の売上が伸長した。特にスポットクーラーやダクトレスクーラーといった単価の高い季節家電が売り上げを牽引した。(小売店)
- 前年のエアコン需要は今年よりも早く、エアコン料金と工事料金による客単価は前年よりも増加した。(小売店)
- 安全装置の義務化により、かつてはオプションであったものも、現在では標準装備化されたことで車両価格が高騰していると思われ、顧客もそうした価格上昇を理解している。(乗用車販売店)
- かつてはタイヤや外装コーティングも合わせて購入してくれていたが、より安いものを調べて買う節約志向の顧客が見受けられる。(乗用車販売店)
- 高齢の顧客が多く、より小さな車への買い替えを求める傾向がある。(乗用車販売店)
- 自分の好みや1台の車を乗り続けることよりも、新車を買って最新の安全機能を手にしたいという高齢の顧客のニーズを感じる。(乗用車販売店)

【観光】

回復しつつある

主要観光施設利用者数及び主要宿泊施設宿泊者数は、円安の状況が続く中、海外客の増加が見られたが、大阪万博等の影響があったことから、前年を下回っている。



観光に関する生の声

- ・円安による海外客やクルーズ船の日跨ぎ停泊の影響で、前年より客数、消費金額が目に見えて増加している。（観光施設）
- ・夏休みシーズンでは、天候の良い週末に道内客の客足が好調であった。海外客に関しては円安の影響で引き続きSNSの影響やロケツーリズム需要により東アジア方面からの客足が安定していた。（観光施設）
- ・国内客に関しては、大阪万博の影響等で道外客からは北海道が旅行先候補に選択されていなかったと思われた。（宿泊施設）
- ・海外客はSNS等の影響が強く、東アジアからの宿泊客が増加しており、コロナ期前に迫っている。（宿泊施設）

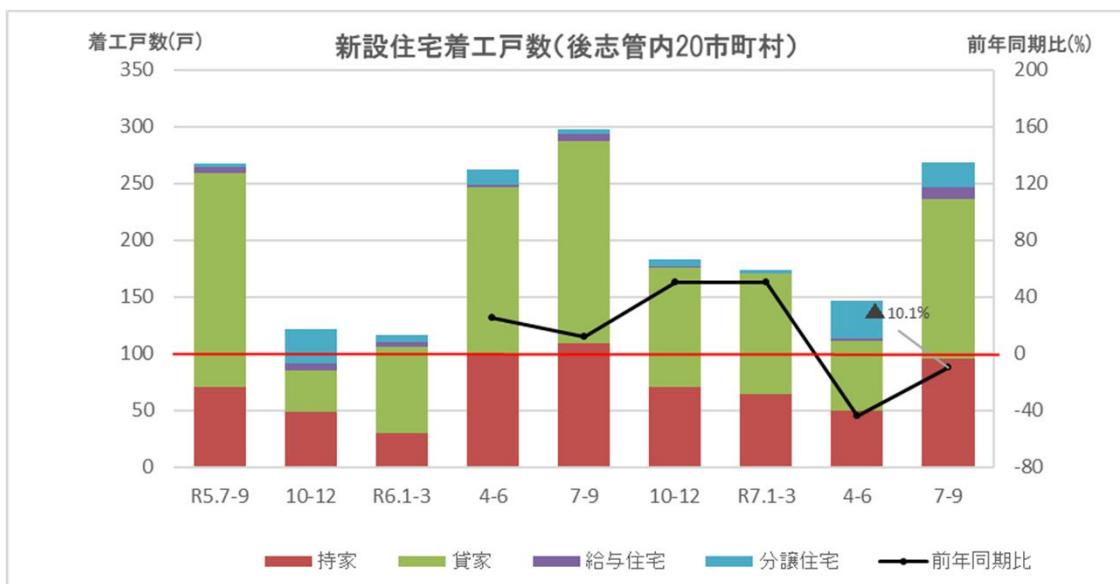
【今後の見通し】

- ・人気歌手のコンサートが札幌で開催されることから、一時的に予約が満室になったこともあり、宿泊客数増加に対する期待感は大きい。（宿泊施設）
- ・昨年は冬期営業開始と同時にインバウンドを中心に多くの来場者で賑わったので、ロケツーリズム需要からの来場者増加を期待している。（観光施設）

【住宅建設】

持ち直しのテンポが緩やかになっている

新設住宅着工戸数は、給与住宅と分譲住宅が前年を上回っているものの、持家と貸家が前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。



(資料) 国土交通省

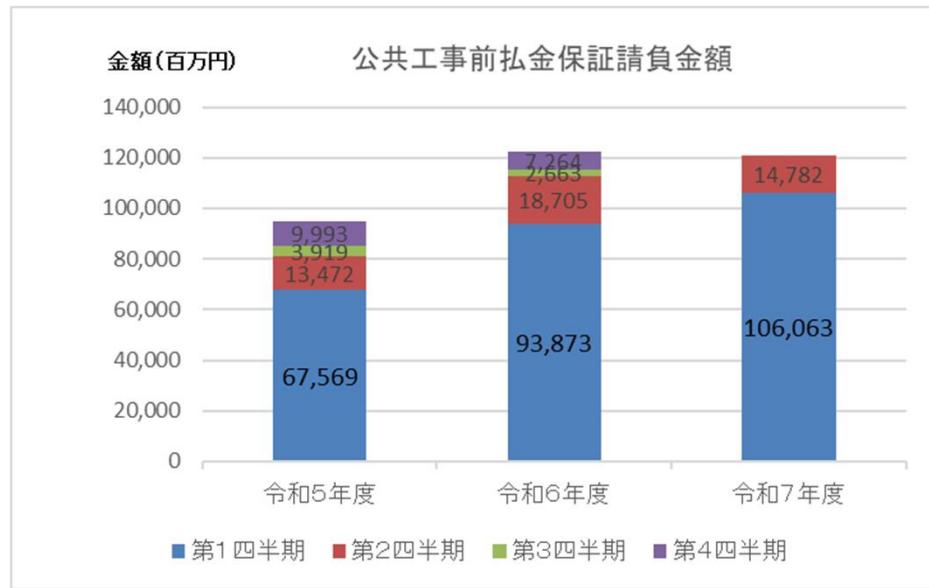
住宅建設に関する生の声

- ・俱知安町内において、共同住宅(アパート)や長屋(共用部分の無い居住用建物)の申請数が増加している。10月以降も、企業従業員用の居住地として建築される見込みがある。(公的機関)
- ・持家は依然として土地(1,000万円台～)・建物(高ければ5,000万円台)の購入費が高い状況であり、資材価格の上昇が影響している。(建設会社)

【公共工事】

年度累計では前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額でみると、四半期合計(令和7年7月から9月)は前年を下回っているものの、年度累計では前年を上回っている。



【生産】

持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需は前年を上回っているが、民需は前年を下回った。全体では前年を上回っている。

水産加工稼働状況は、サケ等の不漁に伴う原材料不足及び仕入れ価格上昇の影響から低調となっている。

金属加工は、軌道整備にかかる部品の受注増加等から、好調となっている。
機械生産は、前年までの受注量が多かったことによる反動減から、低調となっている。

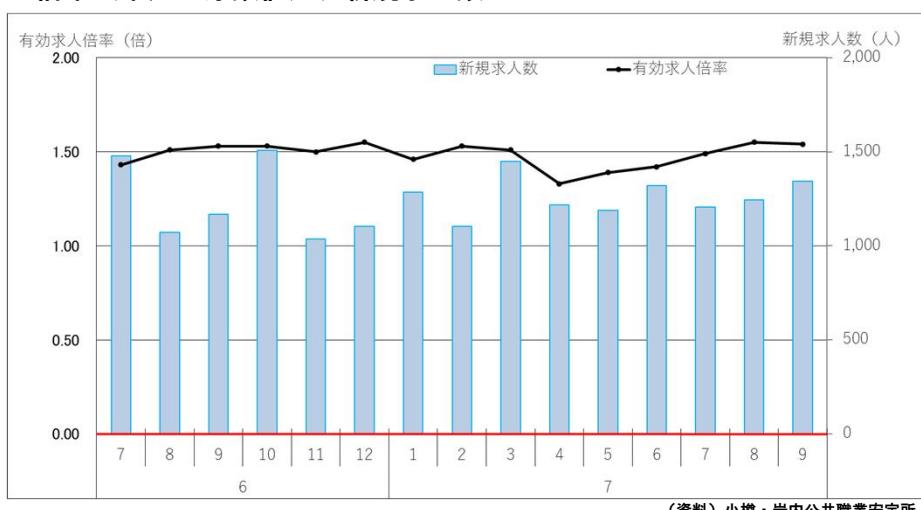
プラスチック製品は、漁業関連製品の需要により、順調となっている。
ゴム製品は、建築需要による受注があることから、安定した操業になっている。

【雇用】

緩やかに持ち直している

有効求人倍率及び有効求人数は前年を上回っている。
ヒアリング先からは、民間求人媒体の積極的な利用を継続しているという声が聞こえており、企業の求人意欲が高い状況は続いている。

有効求人倍率（常用・原数值）、新規求人数



(資料) 小樽・岩内公共職業安定所

	有効求職者数	有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数	新規求人数		
		前年比	前年比	前年差	前年比		前年比	前年比	
5年	31,493	▲ 1.3	45,540	7.1	1.45	0.12	6,992	▲ 1.5	
6年	29,565	▲ 6.1	42,701	▲ 6.2	1.44	▲ 0.01	6,607	▲ 5.5	
6.7~9	7,059	▲ 8.6	10,532	▲ 10.0	1.49	▲ 0.03	1,424	▲ 4.3	
10~12	6,965	▲ 6.8	10,634	▲ 3.7	1.53	0.05	1,477	3.6	
7.1~3	6,970	▲ 7.3	10,467	▲ 3.7	1.50	0.05	1,708	▲ 7.2	
4~6	7,707	▲ 3.9	10,633	▲ 0.3	1.38	0.05	1,867	0.1	
7~9	7,154	1.3	10,906	3.6	1.52	0.03	1,462	2.7	
7年4月	2,629	▲ 4.7	3,503	▲ 5.9	1.33	▲ 0.02	849	3.9	
5月	2,570	▲ 5.2	3,568	▲ 2.3	1.39	0.04	514	▲ 10.1	
6月	2,508	▲ 1.8	3,562	8.2	1.42	0.13	504	5.9	
7月	2,402	▲ 0.6	3,576	3.4	1.49	0.06	517	▲ 3.9	
8月	2,364	2.4	3,655	4.5	1.55	0.04	447	6.9	
9月	2,388	2.3	3,675	2.7	1.54	0.01	498	6.4	

(資料) 小樽・岩内公共職業安定所

※本指標は常用と常用パートの合計である。

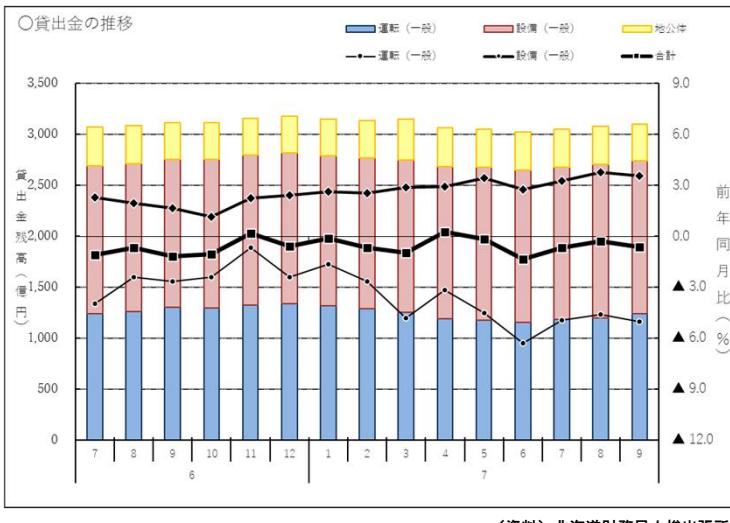
雇用に関する生の声

- ・物価高の影響で、生活水準を維持するためにシニア層の求職活動が増加している。
(公的機関)
- ・人手不足から外国人実習生をレストラン部門で雇用している。(宿泊業)
- ・中途採用において、民間求人媒体の利用コストは上昇しているものの、必要な人材を確保するために引き続き活用している。(製造業)

参考

【金融】

金融（貸出金）

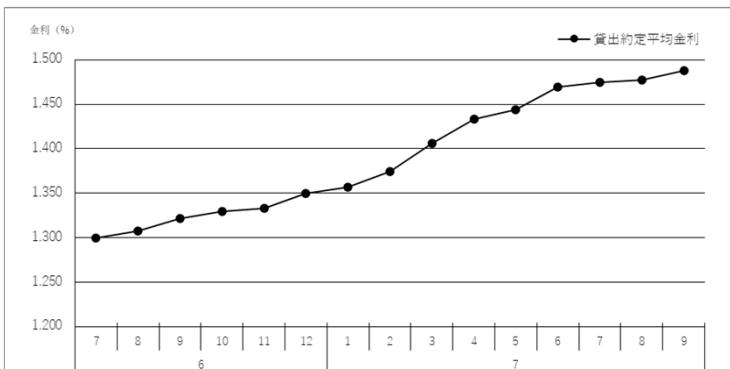


	金額(百万円)				前年比
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	
6年3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲1.6
7年3月	149,090	125,726	40,266	315,082	▲1.0
7年4月	149,059	119,207	38,214	306,480	0.2
5月	149,826	117,638	37,583	305,047	▲0.2
6月	148,895	115,993	37,233	302,121	▲1.3
7月	149,566	118,217	37,233	305,016	▲0.6
8月	150,472	120,229	37,233	307,934	▲0.3
9月	150,409	124,004	35,428	309,841	▲0.6

※1. (一般) は法人及び個人向けの貸出である。

2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

金融（貸出約定平均金利）



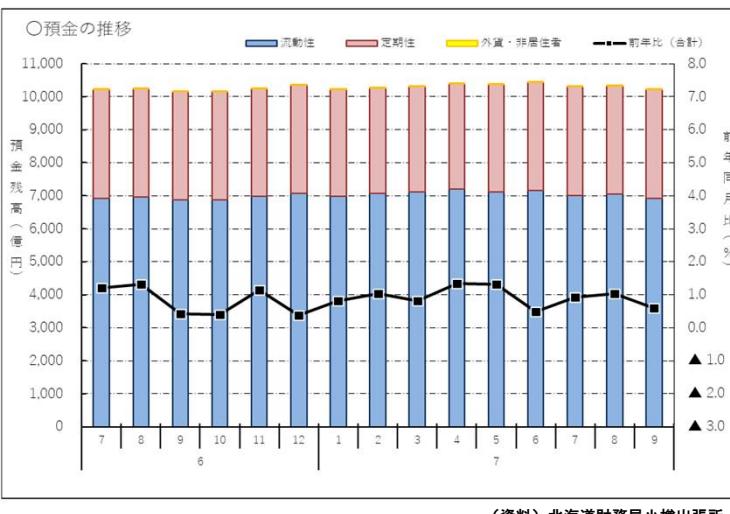
	金利(%)	前年差(Pt)
6年3月	1.257	0.016
7年3月	1.406	0.149

	金利(%)	前月差(Pt)
7年4月	1.433	0.027
5月	1.444	0.011
6月	1.469	0.025
7月	1.475	0.006
8月	1.477	0.002
9月	1.488	0.011

※統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

(資料) 北海道財務局小樽出張所

金融（預金）



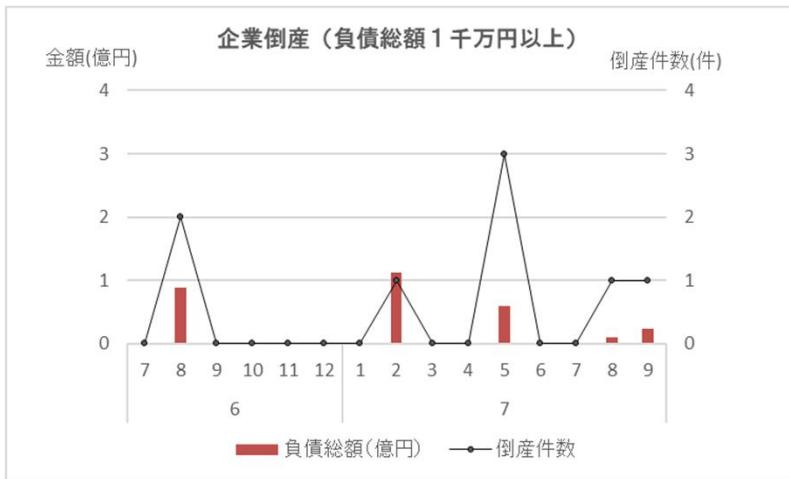
	金額(百万円)	前年比
6年3月	693,703	328,964
7年3月	711,771	318,813

	流動性	定期性	外貨・非居住	合計	前年比
6年3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8
7年3月	711,771	318,813	956	1,031,540	0.8
7年4月	721,259	318,117	664	1,040,040	1.3
5月	710,580	326,401	589	1,037,570	1.3
6月	715,191	328,370	716	1,044,277	0.5
7月	700,758	329,058	1,758	1,031,574	0.9
8月	704,747	328,997	1,012	1,034,756	1.0
9月	692,267	329,695	679	1,022,641	0.6

※統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

(資料) 北海道財務局小樽出張所

【企業倒産】



(資料) 條東京商エリサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
5年	13	2.2倍	1,947	16.9
6年	6	▲53.8	426	▲78.1

6年7-9	2	0	89	▲86.6
6年10-12	0	皆減	0	皆減
7年1-3	1	▲50	112	▲64.7
7年4-6	3	50	60	3.0倍
7年7-9	2	0	34	▲61.8

7年4月	0	皆減	0	皆減
7年5月	3	3.0倍	60	6.0倍
7年6月	0	0	0	0
7年7月	0	0	0	0
7年8月	1	▲50	10	▲88.8
7年9月	1	皆増	24	皆増

**財務省 北海道財務局
小樽出張所 財務課**

〒047-0007

小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp